

新庁舎建設工事が始まります



※新庁舎イメージ図(外観)



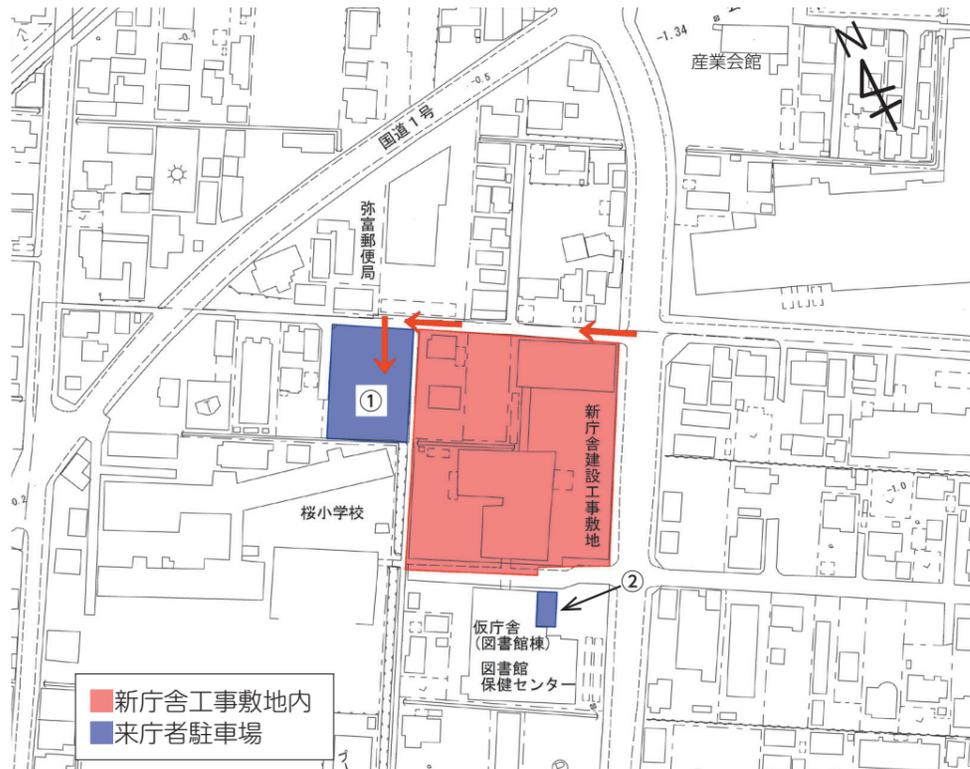
※新庁舎イメージ図(内観)

工事概要

- ◆**工事名**
弥富市新庁舎建設工事
- ◆**工事場所**
弥富市前ヶ須町南本田335(現在の旧庁舎敷地)
- ◆**施工者**
熊谷・日起特定建設工事共同企業体
- ◆**工事期間** 平成32年1月末まで(予定)
- ◆**契約金額** 5,162,400,000円
- ◆**建築(建物)概要**
建設地 前ヶ須町南本田335番 他(旧庁舎の跡地)
敷地面積 10,759㎡
○庁舎棟:鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)
地上6階建て、延べ床面積10,967㎡
○立体駐車場:鉄骨造地上2階建て
延べ床面積3,069㎡
- ◆**駐車台数**
216台(立体駐車場179台、平面37台)
※図書館棟の既設駐車場を含む
- ◆**駐輪台数** 198台 ※図書館棟の既設駐輪場を含む

工事期間中の駐車場および出入り口のご案内

工事期間中の平成32年1月末までは、**新庁舎建設工事敷地内**に立ち入ることはできなくなります。車で市役所仮庁舎(図書館棟)、図書館、保健センターにお越しの方は**①桜小学校北来庁者駐車場**、**②図書館駐車場(障がい者優先)**をご利用ください。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



☎市役所庁舎建設準備室(内線374)

旧庁舎は、建設から50年が経過しており、耐震基準を満たしていないため、地震による崩壊などの危険性が高いことや、給排水施設や空調設備の老朽化が著しく、改修工事や耐震補強工事では、耐用年数の長期延伸は望めないことから、市民が安全で快適に利用できる新庁舎の建設事業を進めております。

新庁舎は、地震対策として、現地盤に、2,000本を超える砂杭を施工し地盤を押し固め液状化対策を施し、さらに免震装置を設置し地震の揺れを吸収し、建物への地震の揺れを軽減する免震構造の庁舎を建設します。

また、浸水対策として、1階フロアーの高さを全面道路より、約1.2m高く設定し、それでも浸水の恐れがある場合は、1階のすべての出入り口に高さ80cmの止水板を設置できる構造とし

ます。

さらに、受変電施設や自家発電機などの基幹設備は、6階に設置することで、万が一、1階フロアーが浸水しても、防災機能を失うことなく災害時における迅速な初動活動に着手することができます。

この様に庁舎は、防災拠点として十分な機能を備え、市民の皆さんの安心・安全を支え、また、行政と皆さんの交流の場として、これまで以上に永く愛され、親しまれる庁舎に生まれ変わります。

建設工事は、平成30年1月から着手し平成32年1月末の完成をめざします。

工事期間中は、何かとご不便・ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。